

**令和4年度第3回  
富士見市障害者施策推進協議会議事録**

<b>日時</b>	令和5年3月27日（月）		開会	午前14時00分		
			閉会	午前16時00分		
<b>場所</b>	市民福祉活動センターぱれっと					
<b>出席者</b>	委員	小菅委員	田嶋委員	朝倉委員	齊藤(七)委員	小川委員
		○	欠	欠	○	○
		木内委員	齊藤(富)委員	国分委員	小寺委員	瀬尾委員
		欠	○	○	○	○
		高橋委員	長澤委員	橋本委員	鶴澤委員	古川委員
		○	○	○	○	欠
		細野委員	和田委員			
	○	欠				
事務局	障がい福祉課 水口課長、新山副課長、加治係長、三浦係長、谷田主任、小泉主事補					
<b>公開・非公開</b>	公開（傍聴者なし）					
<b>議題</b>	<p>1. 協議会開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>（1）専門部会報告</p> <p>① 権利擁護・コミュニケーション部会</p> <p>② 相談支援部会</p> <p>（2）障がい者差別に関する相談状況について</p> <p>（3）第5期障がい者支援計画の進捗状況について （第4期富士見市障がい者支援計画における障がい者計画実施状況の検証）</p> <p>4. その他</p> <p>（1）事務局からの報告</p> <p>（2）来年度のスケジュールについて</p> <p>5. 閉会</p>					

議事内容

事務局	<p>1. 協議会開会 田嶋副会長、朝倉委員、古川委員、和田委員が欠席。12名での開催。</p>
会長	<p>2. 会長挨拶 コロナも少し落ち着き先が見えてきた。社会も落ち着いてきたところ。本日も忌憚のない意見をお願いしたい。</p>
部会長	<p>3. 議題 (1) 専門部会報告 ① 権利擁護・コミュニケーション部会 (資料1参照) 3月17日に部会開催。議題1点目、防災啓発チラシ「災害への準備をしていますか」を令和5年度中に関係者に配布する予定。部会で作成した初めての取り組みなので、実施しながらフィードバックする。 2点目、障がい者差別に関する状況報告。委員からは「防災行政無線で流れる防犯や迷い人などについてもメール送信してほしい」「点字の選挙公報が一部の人にしか配布されていない」など、情報アクセシビリティに関する意見が多くあった。</p>
事務局	<p>その他、来年度に協議したい課題について意見交換した。 本日欠席の田嶋副会長からは、事前に「防災無線や選挙公報など、情報アクセシビリティに関して、IT化により改善が見込まれる。障がい者へのIT教育を含め、今後検討していきたい」とのご意見があった。</p>
部会長	<p>② 相談支援部会 (資料2参照) 3月17日に部会開催。人材育成の取り組み、地域生活支援拠点、日中サービス支援型グループホーム等の状況報告。また、4つの専門チームの活動報告があった。 1) 児童チーム：12月8日実施。「児童発達支援事業所・放課後デイサービス連絡会」開催に向けて意見交換したところ「顔の見える関係づくりから、各事業所の現状や研修体制等を報告してもらおう」などの意見あり。また、今後は、医療的ケア児について、課題等を共有し検討していく必要がある。 2) 精神チーム：2月15日実施。5つの事例検討を通して、関係機関との連携の大切さ、精神障がい者の緊急的な短期入所施設が見つかりにくい等の意見があった。 3) 就労チーム：3月2日実施。就労支援センターから、市内在住の特別支援学校高等部3年生の進路報告。高等学校には特別支援コーディネーターがおり、障害者手帳未取得者が連携できると良い。また、市内に、就労移行支援事業所は、むさしの作業所のみのため、地域の事業所の望ましい利用の仕</p>

	<p>方等を話し合った。その他「障害者雇用代行ビジネス」について意見交換した。</p> <p>4)地域生活支援拠点</p> <p>本市では令和3年度から取り組み、2名の登録があり、緊急対応2名、相談が1名あった。取り組みの中に「専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり」があり、新たに2つの連絡会を開催した。</p> <p>○市内障がい福祉サービス通所事業所・入所施設連絡会議 2月17日実施。地域包括ケアシステムの構築について説明。各事業所から近況や課題の報告があった。</p> <p>○児童発達支援事業所・放課後等デイサービス連絡会 3月2日実施。グループワークを行い、他害行為への対応、幼稚園との連携、コロナ禍での活動制限等について協議。</p>
事務局	<p>(2)障がい者差別に関する相談状況について</p> <p>今年度、行政としては障がい者差別の相談は無かった。田嶋委員から、情報アクセシビリティに関する差別の意見があったが、ほかにあれば報告やご意見を伺う。</p>
委員	<p>グループホームが、本人の問題行動に困り、事前の相談や協議がないまま、突然退去となった事案があった。本人の特性を理解せず、一方的な退去に疑問を感じた。今後このようなことがないように関係機関と連携を図っていきたい。</p>
事務局	<p>(3)第5期障がい者支援計画の進捗状況について</p> <p>「第4期富士見市障がい者支援計画における障がい者計画実施状況一覧表」に沿ってNo.93からNo.120まで検証する。</p> <p>No.96。No.93～97を統合し「暮らしやすいまちづくりの推進」とした。前回会議で委員から市民総合体育館障がい者用駐車場に対する意見があり、担当課と改善に向けて動いている。</p> <p>No.97。4月にびん沼公園がオープンする。トイレにユニバーサルシートを設置した。緊急を知らせるライトもつけられるよう調整中。</p> <p>No.98。鶴瀬西交流センター前と谷津幼稚園前の交差点にエスコートゾーンを設置。警察と連携して整備を進めた。</p> <p>No.100。商業施設の障がい者用駐車スペースを正しく利用してもらえるよう、県のマナーアップキャンペーンに合わせ、ホームページ等で周知啓発を図った。</p> <p>No.102。緊急時連絡システムは、ボタンを押すと消防署につながるシステム。手帳交付時などに案内している。</p> <p>No.108。部会にて福祉政策課、危機管理課と意見交換を行い、部会において防災啓発チラシを作成。今後関係者に配布予定。来年度も引き続き、防災に関して話し合いを進めていく。</p> <p>No.114。福祉避難所の整備は不十分なため、関係課と調整を</p>

委員	行い、安心して避難できるよう体制づくりをしていく。水害の避難訓練については、事業所の実施毎に報告の義務付け。No.115。ヘルプマークは 487 個、ヘルプカードは 338 枚配布。No.119。地域の防災訓練に積極的に参加することが重要。
事務局	聴覚障害者の会は、鶴瀬西交流センターで定例会を実施しており、事前連絡がなく急に訓練が始まることがあり戸惑った。聴覚障害者の会に対して、差別的に感じた。
委員	その意見については、鶴瀬西交流センター館長に伝えている。その後の防災訓練を事前に確認し、聴覚障害者の会に伝えたが、その時は参加者がいなかった。引き続き、防災訓練の情報提供をする。
事務局	地域の防災訓練に参加したいと思うが、視覚障がい者に適切な配慮がされているかわからず、参加できていない。消火器の使い方なども見るだけでなく、実際手に取って学びたい。昨年大規模な防災訓練があったが、今後の訓練において、さまざまな配慮を強く訴えていきたい。
会長	No.120。防災に比べ、防犯の取り組みが弱い。各施設はいかがか。防犯はまだ遅れている。相模原の事件後さすまたは置いているが、なかなか進んでいない。どのような体制を取れるか、地域の事業所と連携していきたい。
委員	放課後デイ等サービス事業所も対策は遅れているが、セキュリティを備え防犯はしている。
委員	私の施設は、人通りが多い場所にある。常に人の目があることで防犯カメラやセンサーを取り付けるに至っていない。利用者の症状が悪化して警察に来てもらうことはあった。何かあれば 110 番通報という体制をとっている。
委員	学校では防犯カメラを 2 台設置、録画をしており、出入口の門は児童がいる時間は閉めている。年に 1 回不審者対応訓練を実施。警察にも参加いただき、さまざまな想定で実施している。不審者が入った場合は暗号を使って職員同士で知らせ、子ども達が不安にならないようにしている。
事務局	部会作成の防災啓発チラシについて承認をいただきたいがいかがか。
事務局	一全委員了承。 4. その他 (1) 事務局からの報告 ①あいサポートフェスティバルの報告(資料3参照) 手話狂言には 354 人が来場、221 人からアンケートを回収した。概ね「良かった」「手話に興味を持った」等好評で、特にワークショップは好評だった。参加された委員から感想・意見を伺いたい。

委員	楽しかった。手話と合わせて狂言を行うのは大変だろうなと思った。さわれる模型があり精巧にできていると感じた。イメージ豊かに手話で表現していて楽しかった。また見たいと思った。
委員	初めて見た。障がいがあってもなくても共有できるものがまだまだあると、可能性を感じた。
委員	特別支援学校の生徒達が出店させてもらった。「すてきね」「ありがとう」という言葉をかけてもらい、そのような体験は普段教えられるものではないので、参加して得られるものがあった。
委員	狂言の言葉は難しかったが、手話を見て、理解できて良かった。マルシェもたくさん買え、いろいろあってほっとできた。
事務局	<p>②あいサポート事業の実績（資料4参照）</p> <p>昨年度、一昨年度は新型コロナウイルスの感染の影響により、研修回数を減らすなどして、あいサポーター養成人数は少なかったが、新しい生活様式を取り入れ、今年度は増加となった。今後も感染状況を勘案し運動を推進していきたい。</p> <p>③令和5年度の事業のお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に世界自閉症啓発デー、発達障がい理解啓発週間があるため、市役所前の時計塔を青色に灯す。</li> <li>・障害者手帳1、2級タクシー券を1回の乗車で2枚使えるように変更される。</li> <li>・燃料費の助成について、これまで登録、請求の2回の手続きが必要だったが、1回で登録請求できるようになる。</li> <li>・10月14日に手話言語市区長会主催で全日本ろうあ連盟作成の映画「咲む（えむ）」の上映会を実施する。</li> <li>・手話通訳派遣事業としてこれまで正規職員1名、嘱託職員2名だったが、来年度は正規職員3名分の予算がついた。全庁的に利用を促していく。</li> <li>・手話通訳の依頼方法として、FAXに加え、LINEを追加する。広報5月号で周知。</li> </ul>
会長	<p>（2）来年度のスケジュール（別紙5参照）</p> <p>5 閉会</p> <p>来年度は、障がい者支援計画策定の年になるため、それに向けた協議が多くなる。委員の皆さんの協力をお願いしたい。</p>

